

履修証明プログラム「アジア・アフリカ地域研究入門」2017-2018  
シラバス

開講式及びオリエンテーション

2017年10月7日（土）午後1時～2時

アジア・アフリカ地域研究研究科長 太田至、学務委員長 長岡慎介 他

講義シラバス

① アフリカ地域研究論 1ー農村への視座ー

2017年10月7日（土）、8日（日）；10時間（=5コマ）

担当教員： 池野 旬

シラバス：

- 第1回 日本におけるアフリカ研究について
- 第2回 アフリカ農村での調査手法について
- 第3～4回 ケニア、タンザニアでの農村調査の成果について
- 第5回 アフリカ農村の変容に対する分析視角について

② 東南アジア地域研究論 1ー社会変動の現場からー

2017年10月28日（土）、29日（日）；10時間（=5コマ）

担当教員： 細田尚美

シラバス：

- 第1回 東南アジア社会の特徴
- 第2回 東南アジア社会の成り立ち
- 第3回 グローバル経済のなかの東南アジア国家
- 第4回 高齢化の進展と介護労働者の国際移動
- 第5回 これからの東南アジアと日本

③ 東南アジア地域研究論 2ー生態環境からー

2017年11月11日（土）、12日（日）；12時間（=6コマ）

担当教員： 古澤拓郎 他

シラバス：

- 第1回 東南アジアの生態環境概論
- 第2回 生物学的適応と文化による適応
- 第3回 フィールドワークによる研究
- 第4回 先端技術（衛星画像解析・実験解析）による研究
- 第5回 東南アジアにおける現代の課題と将来
- 第6回 総合討論

※ 京都大学総合博物館や近隣の鴨川や吉田山での実習も行う予定である

#### ④ アフリカ地域研究論 2ー自然への視座ー

2017年12月9日(土)、10日(日); 10時間 (=5コマ)

担当教員: 山越 言

シラバス:

第1部 授業方針についての説明。

第2部 自然保護の多様なアプローチを具体例を用いて紹介する。

主要な論点: 「誰が」「どのような自然を」「どのような手段で」「何のために」護るのか、「保全と保存」論争、実用的価値と超越的価値、人為的介入の是非

第3部 参加者の関心に応じてキーワードを選び、特定の問題群について議論を行う。

キーワード例: 生物多様性、環境持続性、外来種問題、エコロジー思想、「動物の権利」論争、公民権運動と自然保護思想、動物愛護と共感、アルピニズム・探検の思想、「景観」「風景」概念、風景画の誕生と変遷、ネイチャーライティングと交感、保護区と植民地主義、宗教と環境保全

#### ⑤ アフリカ地域研究資料センター公開講座

2017年11月18日(土)、12月16日(土)、2018年1月20日(土)、2月17日(土); 8時間 (=4コマ)

担当教員: 山越 言 (11月18日)

平野 (野元) 美佐 (12月16日)

大山修一 (1月20日)

太田 至 (2月17日)

#### ⑥ イスラーム世界研究

2018年7月7日(土)、8日(日)、14日(土); 22時間 (=11コマ)

担当教員: 東長 靖、小杉 泰、長岡慎介

シラバス:

第1回 オリエンテーションーイスラームの基礎知識

第2回 聖典、クルアーンと預言者ムハンマド

第3回 イスラーム法 (シャリーア) ー外面への道

第4回 イスラーム神秘主義 (スーフイズム) ー内面への道

第5回 スンナ派とシーア派ー共通点と相違点

第6回 イスラーム世界の多様性ー中国からアフリカなど

第7回 近現代イスラーム世界の諸潮流ー民族主義と原理主義

第8回 政治的イスラーム復興ー中道派と過激派

第9回 経済的イスラーム復興ー資本主義経済への挑戦

第10回 文化的イスラーム復興ー精神世界の復権

第11回 21世紀のイスラーム世界と日本

## ⑦ アジア生態資源利用概論・実習

2018年10月6日(土)、7日(日);12時間(=6コマ)

担当教員: 小坂康之 他

シラバス:

日本と東南アジアにおける生態資源利用の比較を通じて、その可能性と問題点を考察する。

教室での概論授業のあと、京都北山周辺で実習を行う。

## ⑧ 南アジアの政治と宗教

2018年10月13日(土)、10月27日(土)、11月10日(土);22時間(=11コマ)

担当教員: 中溝和弥

シラバス:

### 第1回 「南アジア世界における宗教」

本講義の概要を説明した上で、南アジア世界における宗教について概説する。

### 第2回 「イギリスの植民地支配」

南アジアにおける宗教の変容に大きな影響を与えたイギリスの植民地支配について説明する。

### 第3回 「ガンディーの非暴力主義(1) 思想」

独立運動において宗教の宥和を唱え続けたガンディーの思想について、非暴力主義を軸としながら解説する。

### 第4回 「ガンディーの非暴力主義(2) 実践」

非暴力主義の思想がどのように実践に移されたか、宗教間の宥和がどのように図られていったか、インド独立運動におけるガンディーの実践を説明する。

### 第5回 「インド・パキスタン分離独立」

現在のインド・パキスタン関係、ヒンドゥーとムスリムの関係を考察する上で欠かすことのできない分離独立の悲劇を、ガンディーの実践と関連づけながら説明する。

### 第6回 「政治制度と政党政治の展開」

独立後のインド政治の展開を、政治制度と政党政治の展開に着目しつつ考察する。

### 第7回 「アイデンティティの政治(1) カースト」

インドにおいて宗教対立が激化する背景となったカーストをめぐる政治について解説する。

### 第8回 「アイデンティティの政治(2) 宗教」

宗教的帰属が政治の争点として重要になってきた過程について解説する。

### 第9回 「宗教暴動」

宗教暴動の現実を、2002年グジャラート大虐殺を扱ったドキュメンタリーを鑑賞しながら説明する。

### 第10回 「競合的多党制の時代」

1990年代以降現在に至る政党政治のダイナミズムを解説し、現在インドで進行している宗教的少数派に対する迫害について考察する。

第11回 「南アジアの国際関係」

インドの内政におけるヒンドゥーとムスリムの対立は、そのまま隣国パキスタンとの関係に結びついている。独立後3度に渡って戦火を交え、核兵器を保有して対峙するインド・パキスタンの関係を軸に南アジアの国際関係を解説する。

⑨ アフリカ地域研究論 3ー環境と生業ー

2018年12月8日(土)、9日(日); 10時間 (=5コマ)

担当教員: 伊谷 樹一

シラバス:

- 第1回 アフリカの自然
- 第2回 貧困と環境問題
- 第3~4回 食料とエネルギー問題
- 第5回 農村開発の行方

⑩ 日本・ベトナム関係史

2018年12月15日(土)、16日(日); 10時間 (=5コマ)

担当教員: 伊藤正子

シラバス:

- 第1回 東遊運動ーフランス植民地統治からの独立を夢見た人々の日本留学ー
- 第2回 1945年日本占領下の飢饉
- 第3回 ベトナム戦争と日本(1) 日本の戦争協力と反戦運動
- 第4回 ベトナム戦争と日本(2) 米越対話から学ぶこと
- 第5回 日本からベトナムへの原発輸出計画の顛末

⑪ アフリカ地域研究論 4ー砂漠化問題への視座ー

2019年1月26日(土)、27日(日); 10時間 (=5コマ)

担当教員: 大山 修一

シラバス:

- 第1回 アフリカ農村における自給経済
- 第2回 急速な人口増加とその内的論理
- 第3~4回 サヘル地域における砂漠化問題
- 第5回 砂漠化がもたらす貧困とテロ・内戦